



安心とするおのり下町川の手をめぐって

防災まちづくり瓦版

発行の一寺言問を防災のまちにする会

1991. 1. 1.

一言会が防災広場として計画していた高田製菓跡地 まちづくり用地取得を断念！ 防災に役立つマンションにして！！

マルス東向島という五階建マンションを計画している

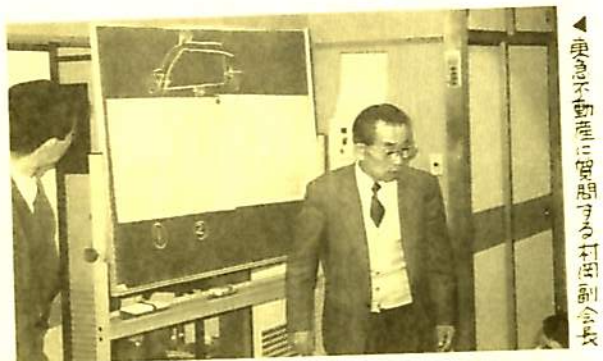
東急不動産に一言会が10の要望を提出しました。



とても残念なことです。高田製菓跡地（東向島一丁目20番地）を区に買ってもらうことが絶望的になり、十月三日の理事会でまちづくり用地として取得を要望していく方針を断念することになりました。同跡地は防災活動の拠点に位置付けている一寺小と言問小の間。木造密集地にあり、長年空地として放置されていました。一言会では防災まちづくりをすすめるにはどうしても必要な土地であることから、かねてから区に買収を要望してきました。ところが前号でお知らせしたように、今年六月東急不動産が取得し、五階建てのマンションが建つことになりました。八月の理事会で一言会は同社にまちづくりへの協力を区への土地売却の検討を要望しました。九月には、区から、則武会長、村岡副会長（東向一南町会長）、徳永副会長（わいわい会代表）が直接同社の責任者に会って、直談判しました。ところが「土地は事業用地として買ったので、区に売る意向はない」という同社の方針は変わりませんでした。所有者に売る意向がない以上、たとえ全区民の署名を集めても買うことはできません。十月三日の理事会では涙を飲んで方針を転換し、少しでも防災まちづくり計画の方針に近いものに開発計画を改善していく方向で、東急不動産に要望・交渉していくことになりました。

十月二十九日の理事会では、もう一度これまでの経過を振り返り、今回の問題をまちづくり全体の教訓にしていくことにして、マンション建設計画の検討にはいりました。検討にあたっては、一寺言問地区六町会の協力を得て特別小委員会をつくり、総力をあげて取り組むことになりました。小委員会では議論を重ねました。そして十一月二十八日、別表に掲げた十の要望項目を東急不動産に提出しました。十項目のうち、10の駐車場については、路上駐車を発生しないような手だてを検討し、具体的な対応策をとってもらうことになりました。そのほかの九項目については、後日検討結果を聞くことになりました。東急不動産は「地元の人の気持ちがよくわかった。今後は誠意を尽くして対応していきたい」と言明しており、今後の検討が期待されます。

●高田製菓跡地は、一寺小と言問小を結ぶ防災用道路「一寺言問のみち」の整備用地として、また防災広場用地として是非とも必要だと考えてきました。



▲東急不動産に要望する村岡副会長

東急のマンション計画に対して 一言会が出した10の要望項目

1. 集会室を地元へ寄贈していただきたい。また、地元の人が入りやすいようにデザインを工夫していただきたい。
2. 防災広場をもっと広くとっていただきたい。加えて周囲の防災に役立つような設えを施していただきたい。
3. 敷地内に避難用の通路を確保していただきたい。
4. 建物からの落下物防止対策を万全にするとともに、放水銃など周囲の防災に役立つ設えを施していただきたい。
5. 北東部道路の歩道状空地を防災広場と一体的にデザインしていただきたい。
6. 南側広場を開放し、消火栓など周囲の防災に役立つ設えを施していただきたい。
7. 防災用水などに雨水を積極的に活用していただきたい。
8. 周囲の路地から見た時、建物が親しみやすく感じるように建物のスケールやデザインを工夫していただきたい。そのために、建物に近づく跡地から見た景観シミュレーション図を提出していただきたい。
9. 周囲から見える緑をもっと増やしていただきたい。
10. 地下などを利用して駐車場をもっと多く確保していただきたい。

一寺言問 / 防災まちづくり瓦版

第23号 平成3年1月1日発行

編集 / 一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・木田佳男・木田文代

編集協力 / マヌ都市建築研究所

発行 / 一寺言問を防災のまちにする会・事務局

墨田区吾妻橋1-23-20

TEL 56081111

私がまちづくりスタッフです

その21

堤通一丁目

横田 久さん
(一言会理事)



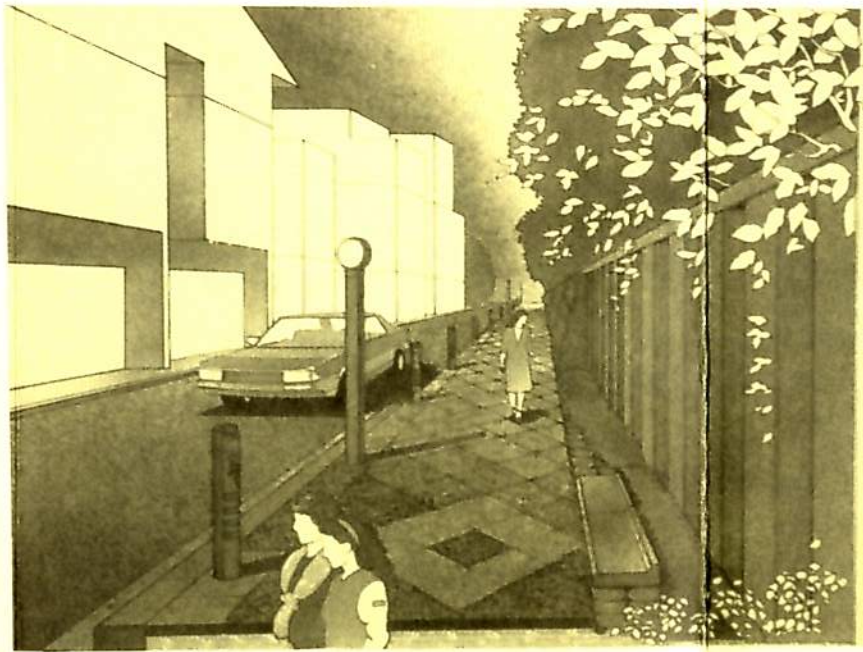
「アサヒビール配送センターのことで、排気ガス・騒音対策をどうするか。町会の要望を出しました。」 淡みのない話し方。歯切れがいい下町っ子という感じのする横田さん。容姿もスリムで無駄がない。

生まれは墨田区。十間橋通りの区画整理にあい、引越してくる。三月十日の東京大空襲の日、白髷神社のすぐ裏まで火の手が迫ってくる光景は今でも忘れない。日本ベークライト研究所(住友ベークライト)に就職。のちに横田酒店を継ぐ。

いつ通っても小さざっぱりと気持ちがいい旧墨堤之道。この道の整備をめぐってドラマがあった。旧墨堤之道の再生は一言会の夢だったが、沿道の方々と意見がくいちがい。計画は暗礁に乗り上げた。

横田さんは一言会の理事でありながら、沿道の住民という苦境に立たされた。が、持前のねばり腰。沿道の方々と一緒に考え、行動し、整備計画を見直し、意見を加えて、ついに旧墨堤之道が完成した。足かけ三年の年月が必要だった。

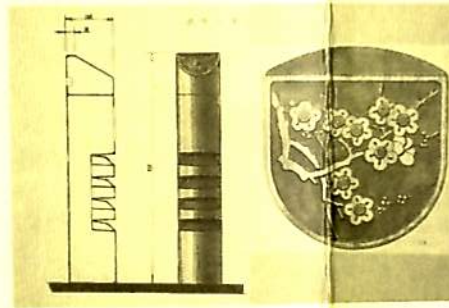
「この教訓を忘れずに、まちづくりを進めていかないとね。そこに住む人たちがまちとどう関わるか。住民参加のまちづくりですからね。」 考え方もお洒も、辛口がお好きとお見受けした。(純)



百花園前の道の完成イメージ図

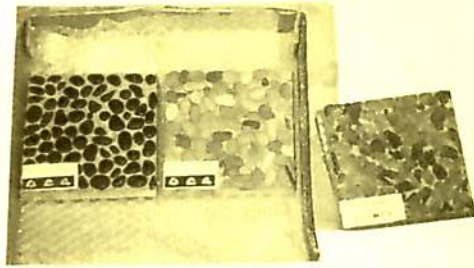
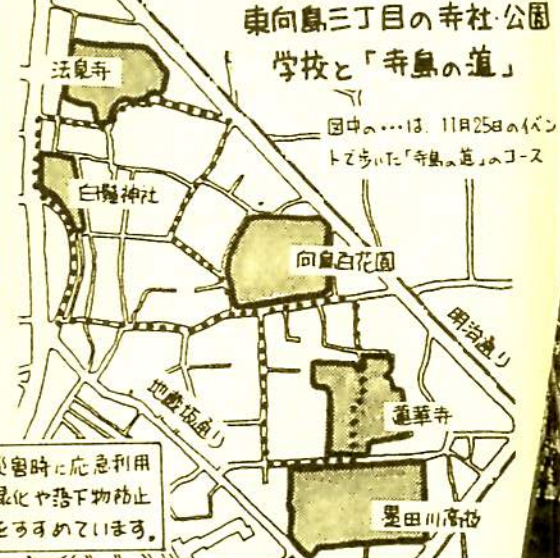
東向島三丁目 寺島の道整備 百花園前のデザイン計画がまとまった!

●10月25日、沿道の人たちと墨田区道路課と一言会の担当者が集まり、整備の最終検討会を開き、デザイン計画をまとめました。それによると、ガードレールをポラード(車止めの柱)に変え、歩道をタイルで舗装する他、消火器ボックスや案内板、ベンチなどが整備されます。区内初の試みとして夜景を演出するための照明灯もつきます。当日は施工会社の人が出席して工事説明会もおこなわれました。3月には新しくデザインされた道になります。楽しみですね。



●ポラード(車止めの柱)には、照明を埋め込んで足元を照らします。百花園のかがやき梅林の下ことから設計に梅のレリーフを施しました。

一言会では、東向島三丁目の寺社・公園・学校を災害時に応急利用できるようにし、それらと結ぶ(寺島の道)の緑化や地下物防止を積極的にすすめる、安心して歩ける散歩道づくりをすすめています。



●上の写真は歩道に敷くタイルです。寺町らしく自然石平板・那智黒石と緑意石を並べました。舗装パターンは、11月26日に現地と試験的に貼、7月で検討しました。



●白髷神社で「寺島の道」の検討会

向島5丁目 有季園第3期利用者募集

向島有季園の第3期利用者を募集します。利用期間は3月1日から翌年1月31日まで。路地草の水を使ったり豊かに緑づくり、みんなが見て楽しめるような緑づくりを約一年間責任を持っておこなえる方を求めます。希望者は官製はがきに応募券を貼り、住所、氏名、電話番号を記入の上、一言会事務局に申し込んで下さい。1月31日頃印有効、2月に公開抽選会を開いて選びます。抽選日は応募者に自ら通知します。なお利用対象は一寺言間地区住民に限ります。利用者は一言会と利用協定を結び、有季園の管理運営に携わり、いただきます。利用者会議に必ず出席すること、近隣に迷惑をかけること、利用者本人が責任を持っておこなうことを約束していただきますのでご了承下さい。

申し込み先は 〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 墨田区都市整備部開発促進室内 一言会事務局「向島有季園」係 Tel (5608)1111 (内3912)

応募券を貼って
一言会事務局へ



向島有季園



応募券
切り取り
裏面に
住所を
貼って

寺島の道の緑を歴史探訪



▲サザンカーなど苗木配布

●11月25日、一言会は墨田区緑化係と共催して「寺島の道」の緑に関するイベントを開きました。白髷神社の社務所に地区住民でもある小島雅孝区立緑図書館館長を招き、寺島の緑の歴史についてお話を伺いました。また区の緑の調査員で地区住民の財越利喜雄さんの案内で「寺島の道」を歩き、現地で緑の解説をしていただきました。

▲現地で解説する財越さん

●緑の講習会と苗木配布のイベントを開催

一寺言間地区は東京都の緑化モデル地区です。

一寺言問の防災まちづくり / アンケート調査結果がまとまりました!

一寺言問地区(墨田区向島五丁目、東向島一丁目三丁目、堤通一丁目)では、昭和60年度に東京都の防災生活圏モデル事業の対象に選ばれ、以来様々な防災まちづくり活動をおこなってきました。

墨田区の呼びかけに応じた住民有志がまず、わいわい会を結成し、そのわいわい会が地元6町会に働きかけて「一寺言問を防災のまちにする会」(通称一言会)が生まれました。一言会は防災まちづくり計画をまとめて区長に提案しました。そして区と協力しあって、計画の具体化をすすめてきました。路地専や向島有季園、旧墨堤之道、整備など成果が次々と誕生しました。

これらは、東京都の防災生活圏モデル事業の予算ですべてしてきました。この瓦版の発行も同様です。そのモデル事業が来年度で終了します。そこでこれまでのまちづくりの経過を振り返り、これからのまちづくりのすすめ方を検討するために、一寺言問地区にお住まいの約200人を対象にアンケート調査をおこないました。その結果がまとまりましたので、ご報告します。

< 調査結果の概要 >

まず8割の人がこの瓦版を読んでいて、まちづくり情報をキャッチする最も有力な情報源になっていることがわかりました。

一寺言問のまちづくりの中で最も知られているのが、路地専と向島有季園。3人に2人の方が知っていました。以下「わいわい会の結成」(44%)「旧墨堤之道の整備」(35%)「イベント一言祭」(30%)。3人に1人が家族や近所で「一寺言問のまちづくり」を話題にすると答えています。

一寺言問のまちづくりに最初から関心を持っていた人は2割弱しかいませんでしたが、路地専が完成してからぐっと増え、向島有季園が完成すると回答者の半分以上がまちづくりに関心を持つようになっています。

一言会の活動はまちのために役に立っていると答えた人は62%。3人に2人の方がモデル事業が終了

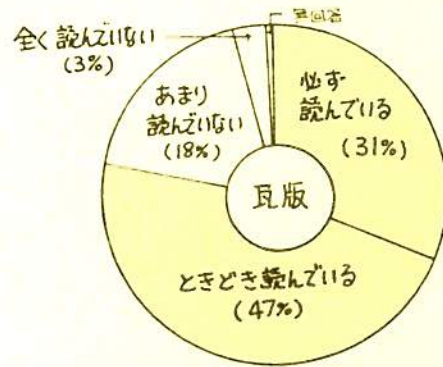
8割の人が瓦版に目を通し、瓦版でまちづくり情報をキャッチしています

● 防災まちづくり瓦版はどの程度読まれているか。
「一寺言問/防災まちづくり瓦版を読んでいますか」

1. 必ず読んでいる	31.3%	} 78.5%
2. ときどき読んでいる	47.2%	
3. あまり読んでいない	17.9%	} 21.0%
4. 全く読んでいない	3.1%	

▶ 調査対象: 一寺言問地区に住む一言会の活動に直接参加していない方。

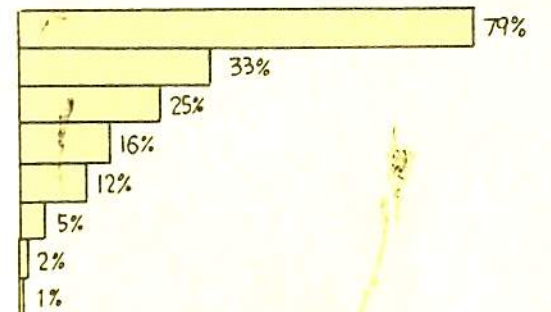
▶ 調査期間: 平成2年8月



● まちづくりの情報源はどこか。
「一寺言問のまちづくりの様子はどこから知っていますか」

1. 防災まちづくり瓦版	78.5%
2. 一言会の理事	15.9%
3. 町会の役員さん	33.3%
4. 近所の人、お友だちなど	11.8%
5. 新聞や区の広報	24.6%
6. その他	1.0%
7. これまで全く知らなかった	4.6%

- ① 防災まちづくり瓦版
- ② 町会の役員さん
- ③ 新聞や区の広報
- ④ 一言会の理事
- ⑤ 近所やお友だち
- 全く知らなかった
- 無回答
- その他



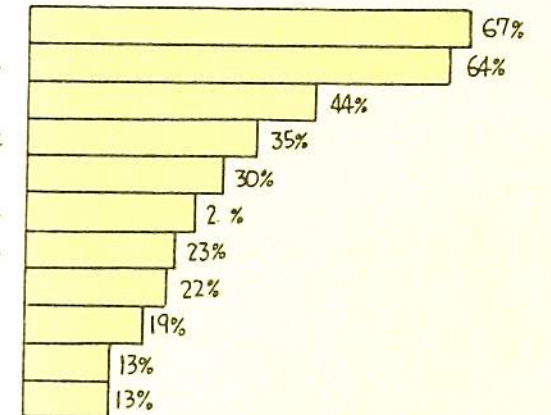
路地専と向島有季園は3人に2人が知っています

● 一寺言問のまちづくりの中で、よく知られているものは何か。
「次にあげたことの中で、ご存知のものに○をつけて下さい」(複数回答)

1. 墨田区の職員が住民に扮して芝居でまちづくりを呼びかけたこと	18.5%
2. 墨田区の呼びかけに応じた住民有志がわいわい会を結成したこと	44.1%
3. わいわい会が昭和61年の墨堤をらまっりて墨堤の桜の復元を提案したこと	23.1%
4. 昭和61年に東向島一丁目こども広場で防災イベント「一言祭」を開催したこと	30.3%
5. 一言祭の後、地元6町会とわいわい会が基盤で、一言会を結成したこと	22.1%
6. 一言会が「一寺言問の防災まちづくり計画」をまとめ、区長に提案したこと	26.2%
7. 東向島三丁目と向島五丁目に路地専という防災装置をつけたこと	66.7%
8. 旧墨堤之道の沿道の人たちと話し合、て歩道や植栽などを改良したこと	34.9%
9. 向島有季園という防災公園と路地専のある小緑地をつけたこと	64.1%
10. 都内のまちづくり住民団体と「防災まちづくり衆会」を開設したこと	13.3%
11. 一寺小の通学区域を持つ町会が小学校を中心に防災対策を検討する「一寺小学校地域防災情報連絡会」を設立したこと	13.3%

▶ 回収結果: 標本数 249人
有効回収数 195人
有効回収率 78.3%

- ① 路地専という防災装置をつけたこと
- ② 向島有季園という防災小緑地をつけたこと
- ③ 住民有志がわいわい会を結成したこと
- ④ 旧墨堤之道の歩道や植栽を改良したこと
- ⑤ 防災イベント「一言祭」を開催したこと
- ⑥ 防災まちづくり計画を区長に提案したこと
- ⑦ わいわい会が墨堤の桜の復元を提案したこと
- ⑧ 町会とわいわい会が基盤で一言会をつけたこと
- ⑨ 墨田区が芝居でまちづくりを呼びかけたこと
- ⑩ 「防災まちづくり衆会」を開設したこと
- ⑪ 「一寺小地域防災情報連絡会」を設立したこと



一言会の支持率62%。3人に2人が活動の持続を希望しています

● 一言会の活動はどのくらい支持されているか。
「一言会の活動はまちのために役に立っていますか」

1. たいへん役に立っている	21.5%	} 62.0%
2. いくらか役に立っている	40.5%	

しても会の活動の継続を希望しています。そして瓦版の発行をはじめとした各種広報活動や、道路・広場に関する関係住民との話し合い、区役所に対するまちづくり事業の要請といった活動を一言会に求めています。

一寺言問のまちづくりは、向島有季園や旧墨堤之道、百花園通りの整備など計画づくりの段階から住民と区役所が話し合、てすすめています。こうしたすすめ方について「とても良いことだから今後もこうした方法をすすめてほしい」という人が半分近く(45%)にのぼり、「時間や手間がかかりすぎるから基本的には区役所が主体的にすすめてほしい」と答えた人は8%でした。

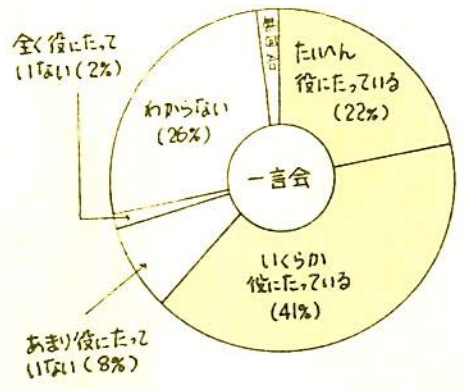
区役所に望むこととしては、以下の通りでした。
 1) 隅田川沿いを魅力的な場所にする(50%)
 2) 幅の広い防災道路を整備する(43%)
 3) 旧墨堤之道のような道路を整備する(29%)
 4) 一言会のようなまちづくり団体の活動を援助する(28%)
 防災活動に役立つ集会施設を整備する(28%)

最後に「機会があれば、一寺言問のまちづくり(例えば建物の利便化やアロ-7場の生け垣心、路地の拡張・隅切り、街並みの景観形成への協力、まちづくりの話し合いなど)に参加したいと思いますか」の問いに対して、「参加・協力したい」と答えた人が64%にのぼりました。

〈調査に協力していただいた方〉

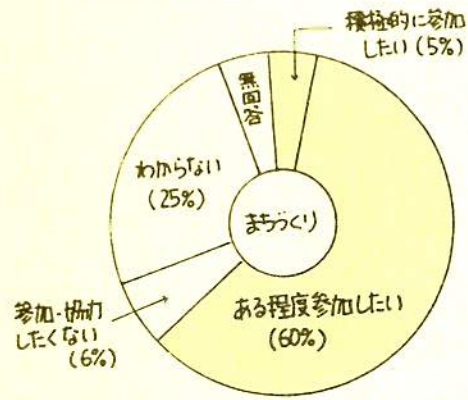
この調査に協力していただいた方は、次のような人たちです。

- 年齢別にみると、40才台が31%と最も多く、以下50才台(27%)、60才台(20%)、30才台(16%)、20才台の回答者も3%いました。
- 男女比は、男性52%、女性48%とほぼ同数です。
- 勤務先は、自宅で仕事している人が47%、地区内で働いている人と無職の人を合わせると82%がいっつも地区内にいることとなります。
- 居住年数をみると、30年以上住んでいる人が50%、10年未満は15%です。
- 今後も一寺言問地区に住み続けたいという人は、79%いました。
- 町会の役員さんは回答者の40%でした。



□ これからの一言会に望むことは、「まちづくりの広報活動」や「話し合い」

●一寺言問のまちづくりに参加・協力したいか。
 「機会があれば、一寺言問のまちづくりに参加・協力したいと思いますか」

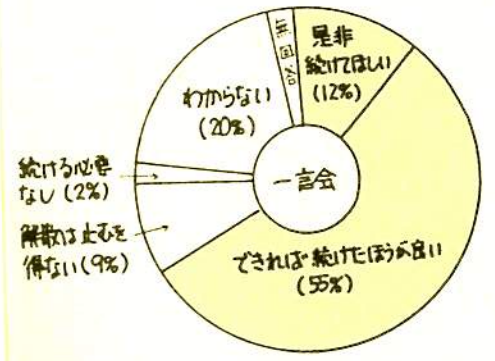


●モデル事業終了後も一言会は活動を継続すべきか。
 「東京都の防災生活圏モデル事業は平成3年度で一旦終わりますが、一言会は今後も活動を続けたい方がよいと思いますか」

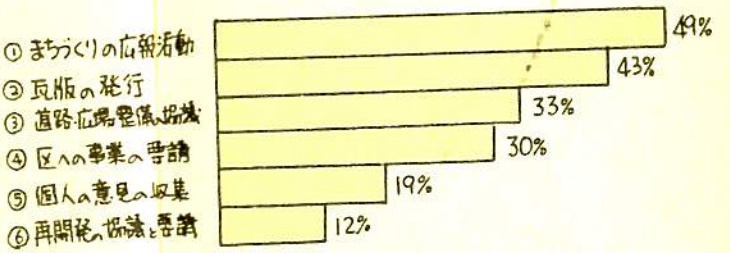
- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 是非とも続けたい | 11.8% |
| 2. できれば続けたい方がよい | 55.4% |
| 3. 解散は止むをえない | 8.7% |
| 4. 続ける必要はない | 2.1% |
| 5. わからない | 19.5% |
| 合計 | 67.2% |
| 合計 | 10.8% |

●これからの一言会に望むことは何か。
 「一言会にどんな活動を望みますか。(複数回答)」

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 区役所に対するまちづくり事業の要請 | 30.3% |
| 2. まちづくりについての情報を地域に知らせる活動 | 48.7% |
| 3. 道路や広場の整備などに関する関係住民との話し合い | 32.8% |
| 4. 住民ひとりひとりの意見を大切に活動 | 18.5% |
| 5. 大規模な再開発に対する話し合いと要請活動 | 11.8% |
| 6. 瓦版のようなまちづくり情報紙の発行 | 42.1% |



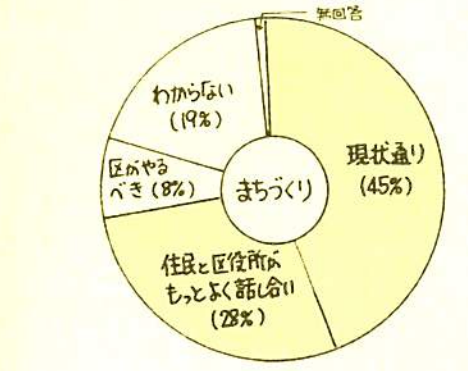
※建物の利便化やアロ-7場の生け垣心、路地の拡張・隅切り、街並みの景観形成への協力、まちづくりの話し合い



□ 今後も住民と区が協力してまちづくりをすすめてほしいという人7割

●住民と区が計画段階から話し合、てすすめるというまちづくりをどう思うか。

「一寺言問のまちづくりは、計画づくりの段階から住民と区役所が話し合、てすすめています。こうしたすすめ方についてどう思いますか」



●一寺言問のまちづくりが続くとしたら、区に何を望むか。
 「もし平成4年度以降も一寺言問のまちづくりの活動として、区役所に何を望みますか。(複数回答)」

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 路地裏のようなシンボルになる防災装置の設置 | 24.6% |
| 2. 旧墨堤之道のような道路の整備 | 29.2% |
| 3. 向島有季園のような広場の整備 | 24.6% |
| 4. 幅の広い防災道路の整備 | 42.6% |
| 5. 防災活動に役立つ集会施設の整備 | 28.7% |
| 6. 隅田川沿いを魅力的な場所にする | 51.3% |
| 7. 一言会のようなまちづくり団体の活動の援助 | 28.7% |

